

頁	項目	修正前	修正後												
II-3-③-1	③ 深礎工	<p>③ 深礎工</p> <p>③-1 深礎工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、人力及び人力併用機械掘削、機械排土、ライナープレート土留工法による図1-1、図1-2に示す範囲の深礎杭の施工に適用する。 なお、本資料での杭径とは、ライナープレートの公称径（ボルト穴間の径）とし、土質区分は、表1.1とする。</p> <p>図1-1 適用杭径及び掘削深(標準)</p> <p>図1-2 適用杭径及び掘削深(掘削機が現場に搬入出来ない場合)</p> <p>表1.1 土質</p> <table border="1" data-bbox="899 1268 1492 1381"> <thead> <tr> <th>土質</th> <th>適用土質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土</td> <td>砂及び砂質土、粘土及び粘性土、レキ及びレキ質土</td> </tr> <tr> <td>岩</td> <td>岩塊・玉石及びこれらが砂、砂質土、粘性土、レキ質土と混合した土、軟岩(Ⅰ)、(Ⅱ)、中硬岩・硬岩(Ⅰ)</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <p>図2-1 施工フロー</p> <p>II-3-③-1</p>	土質	適用土質	土	砂及び砂質土、粘土及び粘性土、レキ及びレキ質土	岩	岩塊・玉石及びこれらが砂、砂質土、粘性土、レキ質土と混合した土、軟岩(Ⅰ)、(Ⅱ)、中硬岩・硬岩(Ⅰ)	<p>③ 深礎工</p> <p>③-1 深礎工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、人力及び人力併用機械掘削、機械排土、ライナープレート土留工法による図1-1、図1-2に示す範囲の深礎杭の施工に適用する。 なお、本資料での杭径とは、ライナープレートの公称径（ボルト穴間の径）とし、土質区分は、表1.1とする。</p> <p>図1-1 適用杭径及び掘削深(標準)</p> <p>図1-2 適用杭径及び掘削深(掘削機が現場に搬入出来ない場合)</p> <p>表1.1 土質</p> <table border="1" data-bbox="1997 1268 2591 1381"> <thead> <tr> <th>土質</th> <th>適用土質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土</td> <td>砂及び砂質土、粘土及び粘性土、レキ及びレキ質土</td> </tr> <tr> <td>岩</td> <td>岩塊・玉石及びこれらが砂、砂質土、粘性土、レキ質土と混合した土、軟岩(Ⅰ)、(Ⅱ)、中硬岩・硬岩(Ⅰ)</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <p>図2-1 施工フロー</p> <p>II-3-③-1</p>	土質	適用土質	土	砂及び砂質土、粘土及び粘性土、レキ及びレキ質土	岩	岩塊・玉石及びこれらが砂、砂質土、粘性土、レキ質土と混合した土、軟岩(Ⅰ)、(Ⅱ)、中硬岩・硬岩(Ⅰ)
土質	適用土質														
土	砂及び砂質土、粘土及び粘性土、レキ及びレキ質土														
岩	岩塊・玉石及びこれらが砂、砂質土、粘性土、レキ質土と混合した土、軟岩(Ⅰ)、(Ⅱ)、中硬岩・硬岩(Ⅰ)														
土質	適用土質														
土	砂及び砂質土、粘土及び粘性土、レキ及びレキ質土														
岩	岩塊・玉石及びこれらが砂、砂質土、粘性土、レキ質土と混合した土、軟岩(Ⅰ)、(Ⅱ)、中硬岩・硬岩(Ⅰ)														